

地域の小さなボランティア活動

投稿日：平成 21 年 5 月 30 日

会員投稿：(うえるかむ神奈川) 坂本春江

放送大学卒業後、地域のボランティア活動に参加して10年以上になります。活動内容は独居の76歳以上のご老人の昼食会を月に一度催し、その会場に出向けないご老人の為に宅配も年4回行っていますが、その為の費用を作るために年一度ボランティアバザーをしています。そしてバザーに出品する為に一年かけて作品作りをしているのです。結構1年中忙しいのです。



料理は家庭料理を独居の方に振舞うことが趣旨であり、バザー作品は会員それぞれの得意とするものを作っています。この頃は腕も上がり見事な物が出来上ります。どんなものかと言えば、

刺繍をしたエプロン、花ふきん(刺し子の)、手製のバッグ、帽子、アクセサリ、人形・動物のぬいぐるみ、布団、座布団、半てん、小物入れ等々アイデアが湧き出てどんどん出来上ってきます。

社会が高齢化するなかボランティアをする会員も高齢者が多くなりつつあります。そしてボランティア活動も高齢者向けが多いことから、子供たちの生活環境を見守るボランティアも大切ではなかろうかと言う考えから、今年の正月に“日本の正月遊びをしよう”と題してイベントを行いました。会場は生涯学習センター(旧公民館)で時間は2時間と決めました。会場に、すごろく、かるた、百人一首、花合わせ、おはじき、こま回し、羽根つき、凧あげ、喫茶(抹茶)などのコーナーを作り呼びかけました。

子供連れの父さん母さん、おじいさん、おばあさん、小学生、中学生と沢山の人が集まり遊戯を楽しみ抹茶を経験してくださり盛況でした。私は喫茶の担当で抹茶はお点前を見ながら飲んで頂くこととし、和服を着る人を4人とし交代でお点前をする、人によって流派が違うがそれも面白かった。お客が多いので、裏方で点てたお茶をお運びする人を中学生のサッカークラブの男子三人の申し出がありました。小袱紗に茶碗をのせ、先生に教わったように茶碗を回して正面をお客に向けてお出しする。これを臆することなく楽しんでやってのけて、とても格好よく、良い雰囲気を作り出しました。このように小学生、中学生が各コーナーで進んで手伝いに参加をしていたこと、親子で楽しんでいる様子、懐かしく遊戯を楽しんでいるご老人を見て、地域の絆が子供たちをそして老いた人々を幸せにしていけるのではないかと感じた次第です。

そして今私たち会員は秋のバザーの為に作品作りに力を入れています。